

り職人、石切り職人を中心とした人夫も集まりました。

いよいよ作業にかかる前の日、豊助は、工事にあたる人や飯盛山の近くの農民たちを集めました。飯盛山には弁天さまをまつた神社があつて、飯盛山に洞門などを掘れば神さまの罰があたるだろうといううわさを聞いたのです。豊助は藩のための工事であることをよく説明し、神主さまに工事の無事を祈つてもらいました。豊助自身も、また集まった人たちといっしょにお祈りをして、人の不安とおそれをなくして工事を始めることにしたのです。

飯盛山に、大地を掘るつちの音がひびき始めました。初めての経験ですから工事はしんちように進められました。少し掘つては磁石で方向をたしかめ、位置を確実に計算しながら進んでいきました。

幸い、飯盛山は火山からふき出したものがたまつてできた岩なので、掘りやすく、掘つてもくずれません。鉄分も少ない地質なので、磁石の示す方向にも